

# 生分解性マルチ・酸化分解性マルチの効果確認試験



JA道北なよろ

木之内 薫



①圃場



②畑楽マルチ



③畑楽マルチ



④コーンマルチII



⑤イーマルチ

## 試験目的

生分解性マルチ・酸化分解性マルチの効果確認試験

## 試験作物及び品種

スイートコーン・かぼちゃ

## 試験資材及び数量(規格)

コーンマルチII      エコローム(他社試験品)  
畑楽マルチ

## 慣行資材

キ工丸

## 栽培方法

定植日	収穫日
慣行区:5月中旬 試験区:5月中旬	慣行区:8月 試験区:8月

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

コーンマルチII、畑楽マルチともに問題なし。他社より試験しているエコローム、キ工丸についても、裂けなど問題は起こらなかった。

畑楽マルチについては、通常の農ポリと差がないぐらいの強度があり、細心の注意を払わなくても展張が可能であり、この強度は非常に良い。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

大きな差は見られなかったが、エコローム(透明)は伸びもよく、水滴の保持力もあり、他と比べ生長が若干早く感じた。エコローム黒はそうでもない。

そのほかは大きな差は見られなかった。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】畑楽マルチ:展張作業性は非常に良い、ずっと破れない/コーンマルチII:追肥時に穴が開かない/エコローム:展張後の伸縮がよい

【問題点】畑楽マルチ:崩壊する心配がないように見える/コーンマルチII:特になし/エコローム:追肥で穴が開いてしまう

### (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

エコロームについては、スイートコーンの追肥で機械をマルチ上に走らせた際、どうしても機械が当たってしまう部分があり、マルチに穴が開いた。初期生育は良かったが、この穴で結局最終的には同程度になった。

コーンマルチIIは同様にしても穴は開かなかった。畑楽マルチは、いつまでたっても穴や裂けが発生しないので、分解するの心配になるほどだった。

### (5)保温効果について

各生分解性マルチの厚みなどによる、保温効果の差は見られなかった。

## モニター感想

それぞれの生分解性マルチによつての大きな差は見られなかった。

エコローム(透明)の展張後の伸びや保水性ははじめ良いように感じたが、追肥の際に破れたことで結局差はなくなった。

追肥時に機械が当たっても破れなかったコーンマルチIIは問題なかった。

畑楽マルチは最後まで破れなかったため、雪が解けてから鋤き込みをすることにした。

もう少し早く分解しても良いと思った。

## JA担当者の感想(購買課 佐々木課長)

サンブラックマルチの代替品が求められている。生分解性マルチは価格が高く、また通常のポリマルチでは作業性の問題から使用には抵抗がある。近年重量野菜の生産面積も減少しており、作業効率アップのためにも、低コストの生分解性マルチが望ましい。

その点、畑楽マルチは価格面・展張作業性では非常に良かった。ただ、破れないので1年目では分解に不安が残った。

次年度以降、分解した後の状態も確認していくことで不安なく使用できると思う。

## 今後の使用について

改良して欲しい。

## 将来希望する資材について

分解速度をコントロールできるような生分解性マルチ。

安価で生産者が気軽に使用できるような資材。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 育苗シート広幅

5 クリーンシート

6 マルチ

7 不織布

8 育苗資材

9 畝農資材

10 その他